

中区 区域まちづくり事業 事業概要

事業名称	乳幼児のむし歯ゼロ作戦
事業目的	中区地域計画における「それぞれに合った健康増進習慣の確立」「歯と口の健康教育の推進」をめざし、次のことに取り組む。 ・中区はむし歯を持つ乳幼児が堺市で多い区である(3歳児健康診査のデータより)。2歳頃は乳臼歯(奥歯)が生え始める大事な時期であり、このタイミングに歯科保健指導を行うことで、乳幼児のむし歯を減少させ、かかりつけ歯科をもつ児の割合を増加させる。
事業内容	○1歳6カ月児健康診査時に中区に住民票のある2歳児に、むし歯菌活動性検査結果と2歳の歯科相談の案内を郵送し、積極的に受診勧奨を行う。 ○2歳時に保健センターで歯科健診と歯科保健指導を行い、希望者にはフッ化物歯面塗布を実施。受診から3～6か月後にフッ素塗布手帳を活用し、地域の歯科医院を受診するよう勧奨する。 ○間食指導もむし歯予防につながる点から、おやつが3回以上もしくは3度の食事を規則正しく摂れていない児に対しては、栄養士による個別相談の対象とし、希望者には栄養個別相談を実施する。
実施場所	中区役所中保健センター
実施時期	令和6年4月～令和7年3月
事業主体	中区役所中保健センター
事業効果	保護者への歯科保健指導の機会を増やすことで、乳幼児の口腔における健康格差の解消が期待される。
活動指標	○3歳児健康診査(3歳6カ月児)のう蝕罹患者率の減少 ○3歳児健康診査時(3歳6カ月児)にかかりつけ歯科をもつ児の増加
備考	